

港湾荷役業における転倒災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	14～15	コンテナ卸作業中、冷凍貨物（カラスカレイ・23kg）をパレットに付ける際、バランスを崩し転倒してしまい、右肩及び右肋骨を負傷する。	42～499	300
1	8～9	内航船の甲板上で、船内の入口付近に溜まっていた水が凍っており、足を滑らせて右後ろ斜めに転倒し、右肩を強打して負傷した。	61	—
2	11～12	フェリーの船内にて、乗用車甲板で無人車を降ろす為、小走りで車へ向かっていたところ、甲板の床に取り付けてある小さな突起物に右足が躓いてしまい、そのまま転倒し、右足首を負傷してしまった。	30～29	10
5	13～14	エプロンにて、岸壁上に置かれたワイヤースリング数十本を埠頭クレーンで吊り上げ、更に本船荷役の邪魔にならないようにスリングの片側にロープを掛け、4名で引っ張りながら上屋の入り口の内部方向へ引っ張っていたところ、突然ロープが外れ4人共に後ろへ転倒した。このうち1名が後方に保管されていた巻紙で左肩を強打し負傷した。	62～29	10
9	10～11	魚艙において、水揚作業中（冷凍魚）作業員交代のため、魚の上を歩いていった所、足が滑り魚の上に転んで負傷した。	56～29	10
9	9～10	会社詰所の風呂場で清掃している時に浴槽を清掃するために、洗剤を吹きかけた。その後、浴槽内を歩行しようとしたところ足を滑らせて転倒した。その際に右膝を床面に強打して負傷した。	59～99	50
		セメント積み込み栈橋でセメント製品を積み込みしている船舶に、協定業務のため		10

10	10～	乗船した。陸上設備上方に設置している確認用パトライトを視認した後、振り返り、本船事務室に向かおうと踏み出した際、デッキ上に設置している消防用水パイプに左足が引っかかり転倒し、左膝を強打した。	28	～
	11			

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

Return to : [https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_09.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html)